

日本アジア投資株式会社
2025年3月期 中間期
決算補足資料

決算発表日:2024年11月14日

1. 代表取締役からのメッセージ	P3
2. 総括	P4
3. 当中間期の実績	P5
4. トピックス	P8
5. 業績予想	P11
6. 参考情報	P13

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

株主・投資家の皆さまへ

株主そして投資家の皆さま、当社に対するご支援いつもありがとうございます。私が当社社長に就任してから今中間期が実質的に最初の四半期決算となります。

まず、投資開発事業では、既存プロジェクトの売却が予定通り進んでいます。中間期には間に合いませんでしたが、10月には障がい者向けグループホームを、ソーシャルボンドとして格付けを取得した上で機関投資家に売却しました。供給の足りない障がい者向け施設の開発に機関投資家が参入できる金融スキームを構築できたことは大きな成果です。

また、中期経営計画で発表したとおり新たな事業として取り組み始めた投資運用事業につきましては、投資案件の発掘とそれに呼応したファンドの組成に向けて準備中です。その他、創薬領域で実績がありグローバルで事業展開をしている株式会社ジーエヌアイグループや、バイアウトファンドや上場企業に対する投資実績のあるグロースパートナーズ株式会社と事業提携を行いました。当社のファンドを通じた投資開発・運用のスキルやノウハウは、様々な領域の事業パートナーと協働してこそ最大限のパフォーマンスを発揮することができますので、今後も多様な事業パートナーとの連携を模索していきます。

資産売却やプライベートエクイティ投資のエグジット環境は決して良好と言える状態ではありませんが、引き続き既存プロジェクトの売却を計画通り進めると共に、新たなキャッシュフローを生まない未稼働資産を流動化して資産効率を高め、まずは運用資産の着実な積み上げによりフィービジネスの強化に取り組んで参ります。

日本アジア投資株式会社

代表取締役社長執行役員CEO 丸山 俊

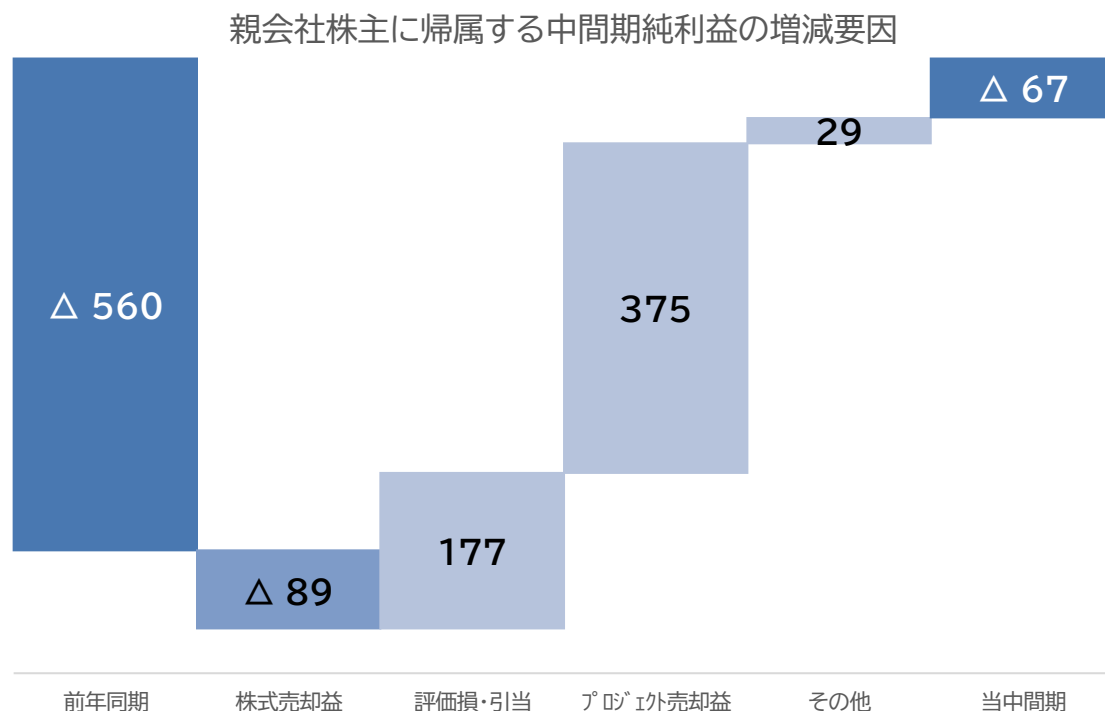
- ✓ 当中間期の実績(対前年同期比増減)
 - 営業収益664百万円(55.8%増)
 - 親会社株主に帰属する中間期純利益△67百万円(前年同期△560百万円)
 - 物流施設1件の売却や評価損・引当の縮小が寄与し、増収・赤字幅圧縮

- ✓ トピックス
 - 2024年6月、経営体制の変更、第三者割当増資により998百万円を調達
 - 2024年8月、中期経営計画を公表
事業領域を「投資開発事業」、「投資運用事業」、「ファンド・プラットフォーム事業」と再定義
 - 2024年9月、(株)ジーエヌアイグループ、グロースパートナーズ(株)と業務提携
 - 2024年10月、障がい者グループホーム16棟の譲渡を決定

- ✓ 業績予想
 - 期初予想に変更なし、営業収益 1,600~2,650百万円、親会社株主に帰属する当期純利益250~950百万円を見込む
 - 中間期実績は下限に対しては巡航速度、中期経営計画の今期業績への影響は軽微

3. 当中間期の実績－ハイライト P/L

(単位:百万円)	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減率
営業収益	426	↗ 664	55.8%
営業原価	420	↘ 160	△61.7%
営業総利益	6	503	7769.3%
販管費	542	565	4.2%
営業利益	△535	△61	-
経常利益	△558	△64	-
親会社株主に帰属 する中間期純利益	△560	↗ △67	-



✓ 増収・赤字幅縮小要因:

- 投資運用事業(プライベートエクイティ投資):
株式の売却益が減少の一方、評価損や引当金が発生せず損失も縮小
- 投資開発事業(プロジェクト投資):
ディストリビューションセンタープロジェクト(物流施設)1件の売却益を計上

3. 当中間期の実績－ハイライト B/S

(単位:百万円)	2024年3月期末	2025年3月期 中間期末	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	10,438	 10,929	4.7%	
うち 現預金	1,750	 2,274	29.9%	増資+10、 投融資△5、回収+10、 返済△5、費用等△5
うち 投資開発事業(引当後 プロジェクト投資(営業投資有価証券・貸付金))	5,248	5,360	2.1%	投融資実行+4.5、 分配・売却等△3
うち 投資運用事業(引当後 プライベートエクイティ投資(営業投資有価証券))	3,003	2,891	 3.7%	投資実行+0.5、 分配・売却等△1.6
借入金	4,314	 3,819	 11.5%	返済△5
自己資本	5,633	 6,535	16.0%	増資+10、利益△1

- ✓ 2024年6月に実施した第三者割当増資により998百万円を調達し、現預金、総資産、自己資本が増加
- ✓ 投資資産には大きな変動無し
- ✓ 返済計画に基づき借入金の返済を実施

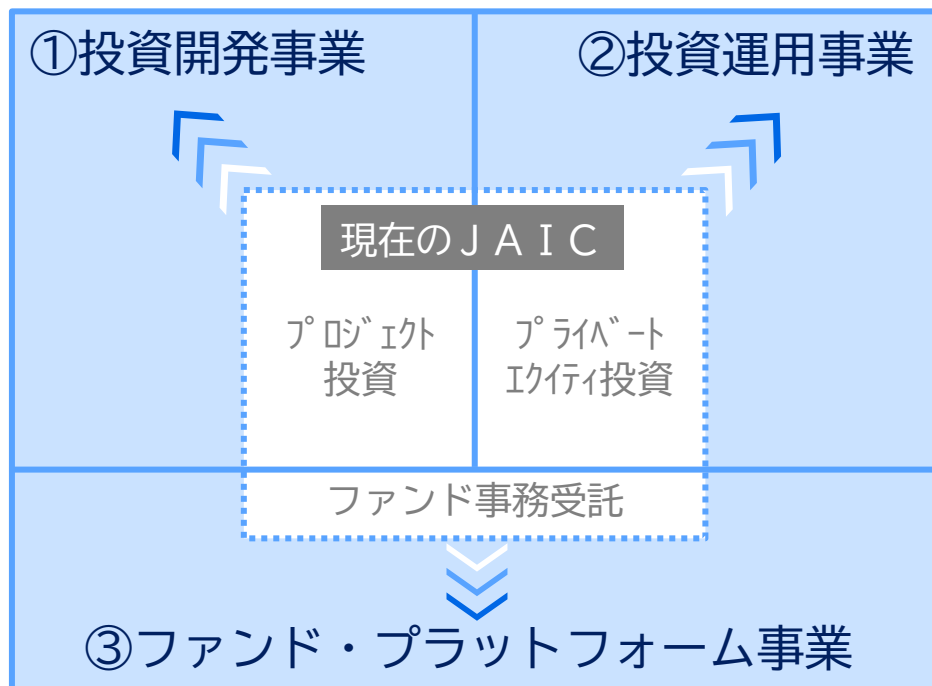
3. 当中間期の実績－ハイライト C/F

(単位:百万円)	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期
営業活動によるCF	385	↓ 116
投資活動によるCF	1	△0
財務活動によるCF	△509	↑ 503
CF増減額	△115	643
期末残高	1,646	2,040

- ✓ 営業活動によるCF:ファンドからの分配金収入が減少したため収入額が減少
- ✓ 財務活動によるCF:長期借入金の返済を行った一方で第三者割当増資による収入を計上

4. トピックスー中期経営計画(事業方針)

J A I Cが目指す姿



新たな事業方針

①投資開発事業

安定収益の確保とファンド組成に向けたプライベート・リアルアセットのパイプライン開発と投資資産の積み上げ

②投資運用事業

国内外の機関投資家やファミリーオフィス・富裕層向けに伝統的・非伝統的な両資産クラスにおいて、J A I Cの強みを活かした投資手法により資産運用サービス・金融商品を提供

③ファンド・プラットフォーム事業

VC/CVC運営企業に対してファンド組成・募集・運用に必要な事務を受託

✓ 2024年8月14日:中計経営計画を発表、事業領域を再定義

4. トピックスー業務提携（2024年9月提携開始）

1. 株式会社ジーエヌアイグループ（東証グロース:2160）

➤ 同社特徴:

創薬に成功し、製薬会社として成長した実績を持ち、中国及びその他の地域において独自の販売網も有する

➤ 提携目的:

- ✓ 同社のネットワークを介し、国内外の投資家の資金を、当社のファンドを通じて主に国内企業へ投資
- ✓ 投資先企業の製品を、同社やグループ会社を通じて海外市場に展開することにより、投資先のバリューアップを図る

2. グロースパートナーズ株式会社

➤ 同社特徴:

投資及びハンズオン支援事業を行う投資会社であり、ベンチャー投資だけでなく、上場企業への出資やバイアウト案件を手掛ける

➤ 提携目的:

当社が計画しているファンド組成に当たり、当社のファンド運営のスキルと、同社の投資対象の選定や投資先企業へのハンズオン支援のノウハウを掛け合わせて、ファンドのパフォーマンスを追求

4. トピックスー障がい者グループホームの譲渡

- ✓ 2024年10月、竣工済みの障がい者グループホーム16棟の譲渡を決定（10月に15棟を譲渡済み、11月に1棟を譲渡予定）
- ✓ 社会性(ソーシャル)の高い投資機会を求める機関投資家の資金と、障がい者支援分野の資金ニーズをつなぐ新規性に富んだ取り組みを実現
- ✓ 譲渡先は、当該グループホーム等を裏付資産としたソーシャルプロジェクトボンド(貸付債権を裏付けとする信託受益権)の発行による機関投資家からの資金調達および大手リース会社並びに大手不動産会社から匿名組合出資を受けた合同会社
- ✓ 当該ソーシャルプロジェクトボンドは、株式会社格付投資情報センターから信用格付(BBB)およびソーシャルボンド・フレームワーク適合に関するセカンドオピニオンを取得



ソーシャルインクルーホーム川越今福(埼玉県川越市)

5. 業績予想－業績予想の詳細

単位:百万円	2025年3月期 中間期 実績	通期見込 (2024年5月発表)	進捗率
営業収益	664	1,600～2,650	41.5%～25.1%
営業利益	△61	150～ 850	-
経常利益	△64	300～1,000	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△67	250～ 950	-

- ✓ 投資金額の比較的多額な未上場株式の売却を見込んだ場合が上限、その売却が無い場合が下限
- ✓ 期初予想に変更なし、中間期の実績は下限に対しては巡航速度
- ✓ 中期経営計画の今期業績への影響は軽微
- ✓ 下限となった場合もプロジェクトの売却により黒字化を目指す
- ✓ プロジェクト売却の一部は見込通り実現済み(高齢者施設は2024年8月売却済み・下期に利益計上見込み、障がい者グループホームは10月に15件売却済み・11月に1件売却予定、その他メガソーラープロジェクト3件の売却を見込んでおり売却活動中)

5. 業績予想－将来情報についてのご注意

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

再生可能エネルギープロジェクト一覧	P14
障がい者グループホーム一覧	P15
プロジェクト投資 案件一覧	P16
主要データの推移	P21
営業収益・営業原価 内訳(2期比較)	P22
営業収益・営業原価 内訳推移	P23
事業領域	P24
JAICの強み	P25
SDGsへの取り組み	P26
会社概要	P27

再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2024年9月末)



メガソーラープロジェクト

売電中 12件(14発電所) 28.4MW

(うち当社出資持分 10.8MW)

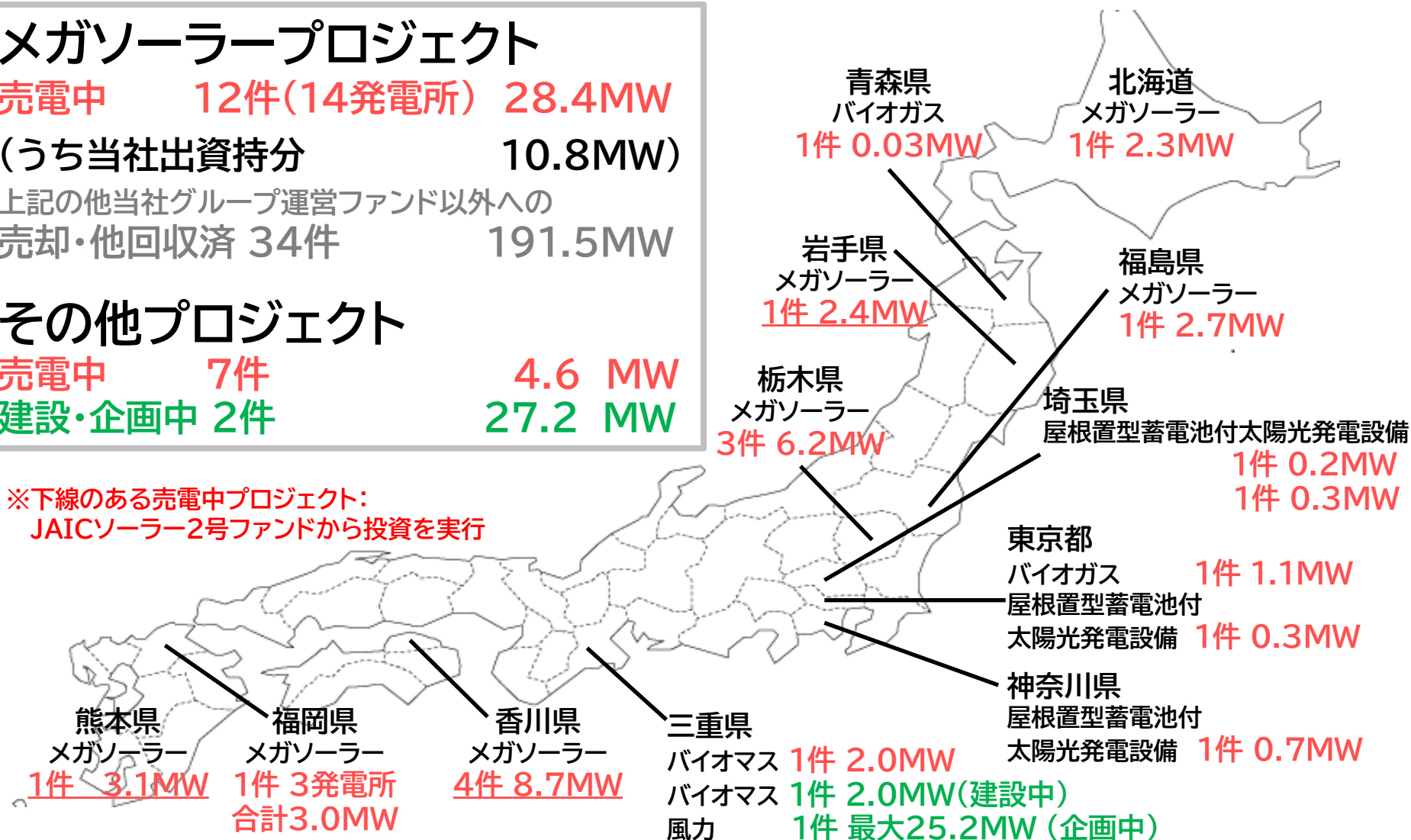
上記の他当社グループ運営ファンド以外への
売却・他回収済 34件 191.5MW

その他プロジェクト

売電中 7件 4.6 MW

建設・企画 2件 27.2 MW

※下線のある売電中プロジェクト:
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行

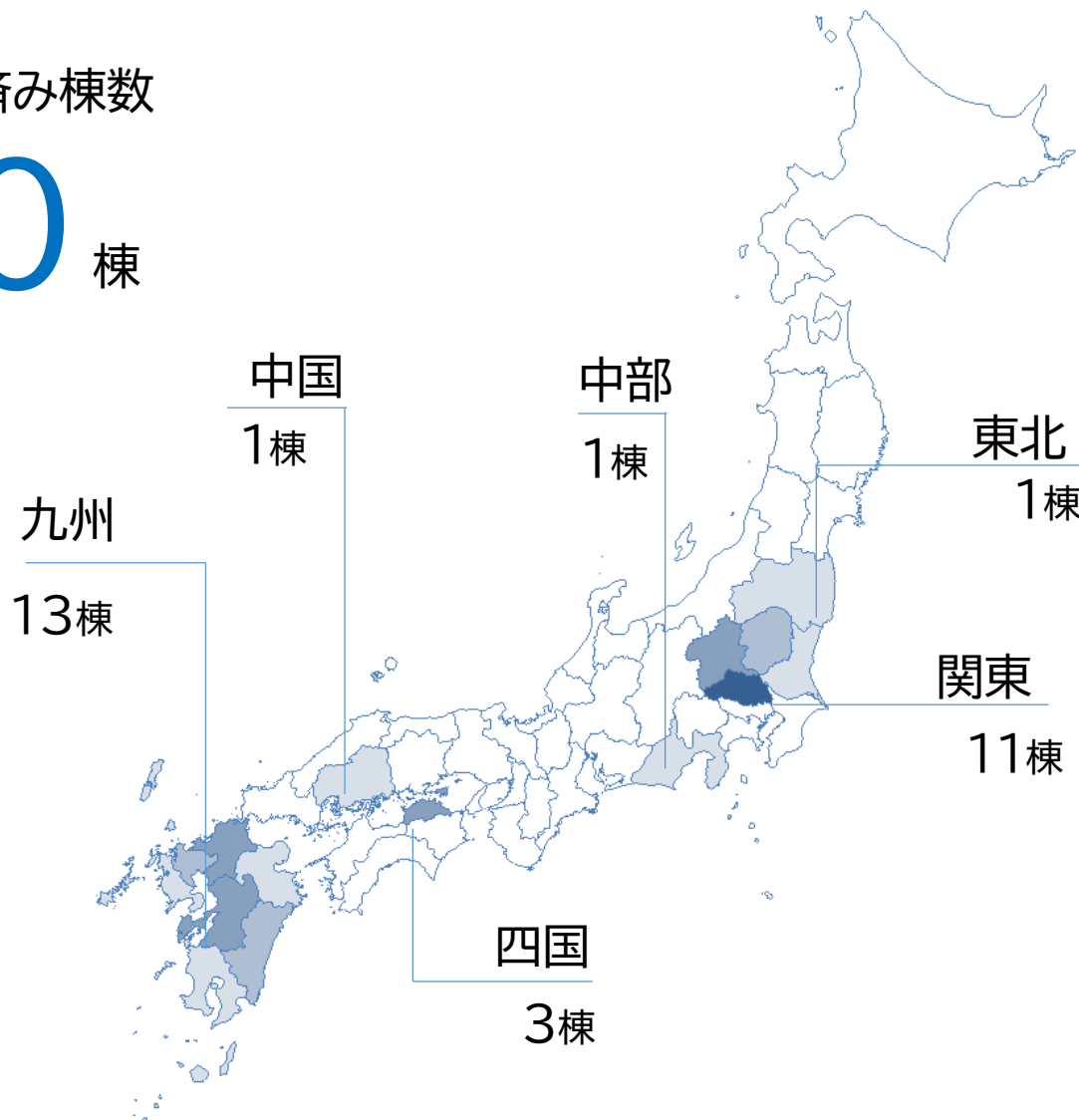


※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

障がい者グループホーム一覧 (2024年9月末)

投資実行済み棟数

全 **30** 棟



プロジェクト投資 案件一覧-1 (2024年9月末)

プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町(※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所(※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク(※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	9	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36
	10	烏山中山太陽光発電所	2.1	売電中 (2024年3月売電開始)	36
	11	鹿沼市上石川太陽光発電所	2.0	売電中 (2023年12月売電開始)	32
	12	大田原市亀久太陽光発電所	2.1	売電中 (2024年5月売電開始)	32
合計 28.4MW (うち当社出資持分 10.8 MW)					

上記のほか、匿名組合持分を保有するためのプロジェクトが1件あり。
 ※:JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2024年9月末)

プロジェクト種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)
屋根置型蓄電池付太陽光発電設備	1	埼玉県越谷市	0.2	売電中(2022年12月売電開始)	—
	2	埼玉県日高市	0.3	売電中(2023年2月売電開始)	—
	3	神奈川県厚木市	0.7	売電中(2023年2月売電開始)	—
	4	東京都あきる野市	0.3	売電中(2024年4月売電開始)	—
バイオマス発電	1	三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	—
	2	三重県松阪市	2.0	建設中	—
バイオガス発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中 (2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	—
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39
風力発電	1	三重県	最大25.2	企画中	22

プロジェクト投資 案件一覧-3 (2024年9月末)

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者グループホーム	1	静岡県浜松市	入居者用20~21室、短期入所用2~3室	営業中(2024年10月売却済み)
	2	広島県広島市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	3	栃木県宇都宮市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	4	埼玉県加須市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	5	栃木県佐野市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	6	茨城県古河市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	7	群馬県館林市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	8	香川県高松市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	9	群馬県太田市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	10	群馬県桐生市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	11	埼玉県川越市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	12	埼玉県鴻巣市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	13	福島県いわき市	同上	営業中(2023年8月営業開始)
	14	香川県東かがわ市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	15	香川県高松市国分寺町	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	16	熊本県熊本市	同上	営業中(2024年3月営業開始)
	17	埼玉県久喜市	同上	営業中(2024年10月売却済み)
	18	熊本県八代市	同上	営業中(2023年12月営業開始)
	19	埼玉県熊谷市	同上	営業準備中(2024年11月売却予定)
	20	鹿児島県霧島市	同上	建設中

プロジェクト投資 案件一覧-4 (2024年9月末)

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者グループホーム	21	佐賀県佐賀市諸富町	入居者用20~21室、短期入所用2~3室	営業中(2024年5月営業開始)
	22	福岡県朝倉市	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	23	大分県大分市	同上	建設中
	24	福岡県直方市	同上	営業準備中(2024年11月営業開始)
	25	宮崎県宮崎市	同上	建設中
	26	福岡県久留米市	同上	営業準備中(2024年11月営業開始)
	27	佐賀県小城市	同上	営業準備中(2025年1月営業開始予定)
	28	長崎県大村市	同上	営業準備中(2024年11月営業開始)
	29	熊本県山鹿市	同上	営業準備中(2024年12月営業開始予定)
	30	宮崎県都城市	同上	営業準備中(2025年1月営業開始予定)

プロジェクト投資 案件一覧-5 (2024年9月末)

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	1号工場 2019年3月稼働 2号工場 2022年8月全面稼働
物流施設	1	東京都あきる野市	延床面積 25,804㎡(予定)、地上4階建	2023年12月竣工
	2	埼玉県春日部市	延床面積 18,158㎡(予定)、地上4階建	建設中
	3	非公開	非公開	企画中
	4	非公開	非公開	企画中

プロジェクト種類		所在地	内容	プロジェクト進捗状況
その他	1	神奈川県藤沢市	元工場をリノベーションした創作活動向けシェア施設	営業中(2023年4月営業開始)
	2	—	電動アシスト自転車のサブスクリプションプロジェクト	2022年8月初回投資実行
	3	非公開	非公開	非公開
	4	非公開	非公開	非公開
	5	東京都港区虎ノ門	樹木葬プロジェクト 光円寺「芝愛宕の森™」	営業中(2023年5月開園・販売開始)
	6	京都府京都市	樹木葬プロジェクト 海宝寺「伏見桃山の森」	営業中(2023年11月開園・販売開始)

主要データの推移

(単位:百万円)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
業績					
営業収益	2,760	3,089	2,409	3,017	964
営業総利益	1,359	1,301	1,276	961	△427
販売費及び一般管理費	1,094	1,086	1,189	1,147	1,094
営業利益	265	214	86	△185	△1,522
経常利益	140	173	61	△224	△1,569
親会社株主に帰属する当期純利益	302	144	49	△269	△1,574
財務状況					
現預金	3,920	3,699	2,740	2,464	1,750
引当後 営業投資有価証券・貸付金(プロジェクト投資)	5,437	5,583	6,781	6,053	5,248
引当後 営業投資有価証券(プライベートエクイティ投資)	5,287	4,267	4,812	4,083	3,003
借入金	8,166	6,950	5,943	5,142	4,314
自己資本	7,223	7,338	7,779	7,518	5,633
総資産	15,800	14,657	14,972	13,413	10,438

24年3月期 中間期	25年3月期 中間期
426	664
6	503
542	565
△535	△61
△558	△64
△560	△67
2,032	2,274
6,007	5,360
3,559	2,891
4,633	3,819
6,800	6,535
12,147	10,929

(単位:百万円)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
ファンド設立・増加額	1,359	151	1,001	3,701	1,400
ファンド運用残高 ※	17,390	16,450	16,463	15,850	15,497
うち 当社グループ出資額 ※	5,163	5,434	4,953	3,389	2,428

24年3月期 中間期	25年3月期 中間期
600	35
14,664	12,596
2,418	1,544

※ 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

営業収益・営業原価 内訳(2期比較)

(単位:百万円)	合計		投資開発事業		投資運用事業		ファンド・プラットフォーム事業	
	2024年3月期中間期	2025年3月期中間期	2024年3月期中間期	2025年3月期中間期	2024年3月期中間期	2025年3月期中間期	2024年3月期中間期	2025年3月期中間期
営業収益	426	664	18	↗398	336	↘189	71	76
管理運営報酬等	79	72	1	1	18	10	59	60
営業投資有価証券売却高	281	159	0	-	281	↘159	-	-
組合持分利益・インカムゲイン等	32	390	6	↗380	26	10	-	-
その他営業収益	32	41	10	16	9	9	12	15
営業原価	420	160	98	52	321	108	-	-
営業投資有価証券売却原価	132	98	0	-	131	98	-	-
営業投資有価証券評価損・投資損失引当金繰入額	183	6	-	0	183	↘6	-	-
組合持分損失等	97	45	92	43	4	2	-	-
その他営業原価	7	10	5	8	1	1	-	-
営業総利益	6	503	△79	↗346	14	↗81	71	76

✓ 投資開発事業:増収・黒字転換

•営業収益(組合持分利益・インカムゲイン等):

2024年3月に売却されたディストリビューションセンターの売却益を、受取配当金として受領

✓ 投資運用事業:減収・増益

•営業収益(売却高):前年同期は利益率の高い上場株式を売却したが、当中間期は未上場株式の売却が中心

•営業原価(評価損・引当金):前年同期は回収見込み額の低下した銘柄に計上したが、当中間期は減少

営業収益・営業原価 内訳推移

(単位:百万円)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	24年3月期 中間期	25年3月期 中間期
投資開発事業(プロジェクト投資)							
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(a)	6	11	11	9	12	4	7
プロジェクト運用利益(組合持分利益・インカムゲイン等、その他営業収益)(b)	85	55	△15	20	29	13	15
プロジェクト運用損失(組合持分損失等、その他営業原価)(c)	150	110	141	386	281	98	52
プロジェクト運用損益(b-c)	△65	△54	△156	△366	△251	△84	△37
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカムゲイン等)(d)	1,542	1,351	1,150	887	272	0	375
売却原価(e)	489	587	509	90	262	0	-
評価損・引当(f)	-	-	-	75	-	-	0
プロジェクト投資 キャピタルゲイン(d-e-f)	1,052	763	640	722	10	-	375
営業収益 小計(a+b+d)	1,634	1,418	1,145	917	314	18	398
営業原価 小計(c+e+f)	640	697	650	552	543	98	52
営業総利益 小計	994	720	495	365	△229	△79	346
投資運用事業(プライベートエクイティ投資)							
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(g)	93	62	40	17	49	18	20
成功報酬(管理運営報酬等)(h)	-	-	-	-	10	10	-
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカムゲイン等)(i)	896	1,469	1,078	1,943	442	307	169
売却原価(営業投資有価証券売却原価、組合持分損失等)(j)	515	896	337	1,274	203	138	102
評価損・引当(k)	245	194	145	229	645	183	6
プライベートエクイティ投資 キャピタルゲイン&インカムゲイン(i-j-k)	135	378	595	439	△405	△14	61
営業収益 小計(g+h+i)	989	1,532	1,119	1,960	502	336	189
営業原価 小計(j+k)	760	1,090	483	1,503	848	321	108
営業総利益 小計	228	441	636	457	△346	14	81
ファンド・プラットフォーム事業							
事務受託報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)	136	138	144	139	147	71	76
総計							
営業収益	2,760	3,089	2,409	3,017	964	426	664
営業原価	1,401	1,788	1,133	2,056	1,392	420	160
営業総利益	1,359	1,301	1,276	961	△427	6	503



①投資開発事業

- ファンドの組成や融資による調達資金で設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、設備を建設した後、設備を運営または売却する投資事業です。
- インフレや景気の動向に影響を受けにくい特性を持ったプライベートな実物資産に投資をします。主な投資対象は、エネルギー（再エネ発電所、蓄電所）、インフラ（物流施設）、ヘルスケア（障がい者グループホーム）等です。

③ファンド・プラットフォーム事業

ファンド・プラットフォーム事業
 ファンド・アドミニストレーターとして長年の実績を有するジャイク事務サービス(株)が、ファンド運営のミドル・バック業務のサービスを提供します。

②投資運用事業

- 企業の発行する有価証券を対象とする投資事業です。
- 当社の強みを活かしてファンドを組成し、伝統的運用資産である上場株式・上場債券を対象としたバイアウト投資やPIPEsなどを行うほか、非伝統的（オルタナティブ）運用資産である未上場企業へのベンチャー投資やバイアウト投資を行います。

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有する

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

- 国内外で3,300億円の累計投資実績
- プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築

- 国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築
- そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用

サステナビリティへの取り組み

長期ビジョン

経営理念

「日本とアジアをつなぐ投資会社として少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創ります」

サステナビリティへの取り組み

SDGs投資会社であることをコアバリューとし、経営理念に基づく投資活動を徹底することで持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行う

マテリアリティ

Environment

- ◆ 投資を通じた環境負荷軽減と気候変動問題への取り組み
- ◆ 循環型社会に向けてイノベーションに取り組むベンチャー企業を支援

Social

- ◆ 投資を通じた少子高齢化問題の課題解決・包摂的な社会構築への取り組み
- ◆ プロジェクトを通じた地域金融機関と連携による地域社会・地域経済の発展への貢献
- ◆ 人権の尊重と多様性の確保による働きがいのある職場環境の整備

Governance

- ◆ 健全な組織基盤の構築
- ◆ コンプライアンスの徹底
- ◆ リスク管理体制と情報セキュリティの強化
- ◆ 適切な情報開示とステークホルダーとの適切な対話の推進

投資領域

社会の課題を解決する投資会社として

ヘルスケア
(高齢者、障がい者施設)



ディストリビューション
センター (物流施設)



プライベート
エクイティ投資



スマートアグリ
(植物工場)



再生可能エネルギー



ファンド管理



会社概要(2024年9月末現在)

会社名	日本アジア投資株式会社(略称)JAIC		
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号		
設立年月日	1981年7月10日		
資本金	5,925百万円		
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:8518)		
従業員数	単体19名/連結39名		
事業領域	投資運用事業、投資開発事業、ファンド・プラットフォーム事業		
役員	代表取締役 社長執行役員CEO	丸山 俊	
	取締役 専務執行役員COO	橋 徳人	
	取締役 常務執行役員CFO	岸本 謙司	
	取締役 執行役員	河内 和洋	
	取締役 監査等委員長	大森 和徳	
	取締役 監査等委員	片桐 春美	(独立社外取締役)
	取締役 監査等委員	工藤 研	(独立社外取締役)

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。
- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。
- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。



<https://www.jaic-vc.co.jp>

お問合せ先:管理グループ 岸本・丸山

ir@jaic-vc.co.jp